## 取扱説明書

### 釜めし炊飯器

形名

J KM-10

- このたびは当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、 お使いになる前に この取扱説明書をよくお読みになり、 十分に理解して下さい。
- お読みになった後は いつも手元においてご使用下さい。

#### もくじ

		_
安全上のご注意	1	
各部の名前	3	
準備	4	
使いかた	5	
お手入のしかた ************************************	7	
仕様	8	

### 株式会社 中部コーポレーション

### 安全上のご注意

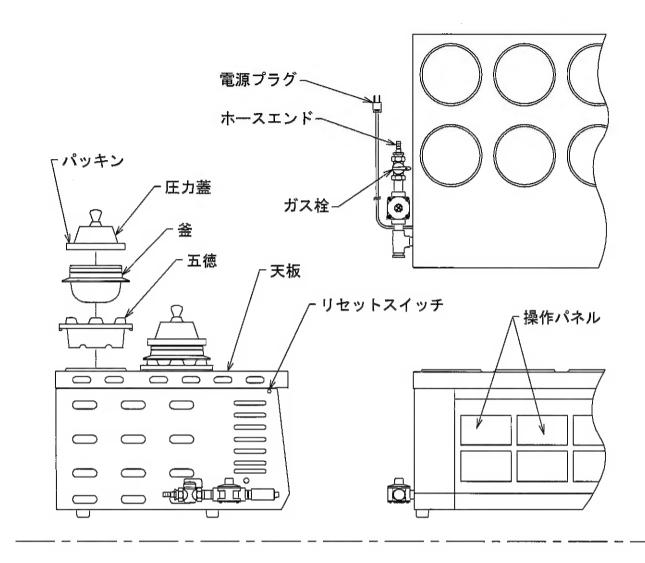
- 〇 ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ 正しくお使い下い。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。
- ガス漏れに気づいたときは すぐに機器の使用をやめ、ガス栓を閉じ、窓や戸を開放し、ガスを外に出し、販売者またはガス供給者に連絡し、全ての処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具(換気扇など)のスイッチの入・切や、電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しないこと。 炎や火花で引火し、爆発事故の原因になります。
- 本体に貼ってある銘板のガス種以外では使用しないこと。 異常燃焼で火災、火傷や一酸化炭素中毒の原因になったり、機器が故障するこが あります。不明な場合は、販売者またはガス事業者に連絡してください。
- 引越しや移設をされたときは、供給ガスの種類と機器銘板のガス種が一致していることを、必ず確かめてください。
- 可燃性(カーテン、新聞紙、紙袋など)や引火性(エアゾール缶、ガソリン、ベンジン、接着剤、石油缶など)のものを機器の上やまわりに置いたり、使用したりしないこと。

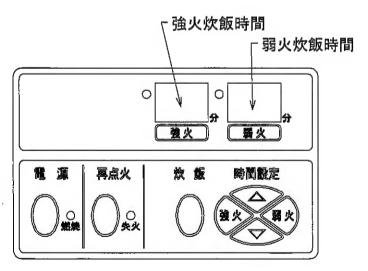
焦げたり燃えたりして火災の原因になります。

- 棚の下など、落下物の危険のあるところに設置しないこと。 機器の上に落ちたものが燃えて、機器が破損したり、火災の原因になります。
- 機器を設置した後、機器の周辺の改造をしないこと。 設置基準上問題となる場合があり、不完全燃焼や火災の原因になります。
- 絶対に分解したり改造はしないこと。異常動作したり故障の原因になります。
- 使用時には換気扇を回し、必ず換気すること。 換気しないと室内の空気が汚れて不完全燃焼し、一酸化炭素中毒の原因になります。

- 地震、火災など緊急時や、使用中に異常な燃焼、臭気、音等ふだんと違った状態になったとき、不都合が生じたときには、ただちに使用を中止すること。
  火災、火傷、一酸化炭素中毒の原因になります。
- 強い風の吹き込むところや屋外に設置しないこと。 性能が十分に発揮できなかったり、炎が消えたり、風にあおられて周囲のものの 過熱の原因になることがあります。
- 安定性の良い丈夫で水平なところに設置すること。 不安定で傾いたところに設置すると、機器の落下や異常加熱などによって、ケガ や火傷の原因になることがあります。
- 点火のときや使用中はバーナー付近に顔を近付けすぎないこと。火傷の原因になります。
- 使用中および使用直後は、機器本体と、その周辺が熱くなっているので、操作部以外は触らないこと。
  火傷の原因になります。
- 使用中および、使用直後は天板、五徳や周辺部は高温になっているので注意する。 火傷の原因になります。

# 各部の名前





操作パネル

### 準備

(各部の名前は 3ページを参照してください。)

#### 各部品のセット

1. ガス、電源プラグの接続を確認して下さい。

注意:ガス管、電源コードが本体又は、他の機器に触れないように 接続して下さい。

- 2. 「五徳」をセットして下さい。
- 3. 釜、圧力蓋、パッキン、五徳は必ず当社純正品をお使い下さい。 重大な事故になる恐れがあります。

### 使いかた

#### 炊飯時間の設定

- 1. 電源スイッチを押して下さい。(長押、約2秒) 炊飯時間が表示されます。
  - 強火(弱火)スイッチを押して下さい。
  - ・ 強火 (弱火) の炊飯時間 (分) が点滅します。
  - ・ 上下キーにて炊飯時間(分)を設定して下さい。
  - 強火(弱火)スイッチを押して下さい。
     炊飯時間の点滅がとまり、設定が完了します。(弱火も同様に設定します)
     (スイッチを押さなくても約6秒で自動的に点滅がとまり、設定が完了します)
  - 追炊き (強火) をご使用になる場合は強火スイッチを5秒以上、押してください。
     △ ▽スイッチを押して設定してください。

※「0」: 0 秒、「1」: 10 秒、、、「36」: 360 秒です。(10 秒単位で最大 360 秒まで設定可能) 注意:強火の炊飯時間が長いと圧力蓋の蒸気穴より吹きこぼれることがあります。 火傷や立消えの原因となりますので、吹きこぼれましたら強火の時間を 短く設定して下さい。

#### 炊飯

使用前に必ず換気扇を運転して下さい。

不完全燃焼した場合、一酸化炭素中毒の恐れがあります。

- 1. 器具のガス栓を開けて下さい。
  - 各操作パネルの電源が入っていることを確認して下さい。電源が入っていない場合は電源スイッチを押して下さい(長押、約2秒)
- 2. 釜飯と圧力蓋をセットしてください。
- 3. 操作部パネルの炊飯ボタンを押して下さい。
  - 炊飯ボタンを押す前に炊飯時間を確認して下さい。炊飯時間が異なる場合は設定してからご使用ください。
  - 「チチチ・・・」と音がして点火します。
  - 燃焼ランプが黄色に点灯し、炊飯が始まります。 炊飯中は時間経過とともに表示時間が減少していきます。 炊飯中は時間表示横のランプが赤色に点滅します。

注意: 万一、吹きこぼれ等により、立消えが発生した場合は「ピピピ・・・」と 警報音が鳴り続き、失火ランプが赤色に点滅し自動的にガスを止めます。

炊飯を継続する場合は再点火スイッチを押して下さい、炊飯時間を 記憶していますので途中から継続して炊飯できます。

※ 何度も失火を繰り返す場合は機器が改障している恐れがありますので、 すぐにご使用を停止していただき、お買い求めの販売店にご連絡ください。

- 4. 炊き上がりましたら付属の「釜つかみ」にて、炊飯器から取り出して下さい。
  - 設定時間になりますと「ピーピー・・・」と鳴り、炊飯を終了します。
  - 続けて炊飯する場合は、新しい釜飯をセットし炊飯スイッチを押して下さい、 炊飯を開始します。

注意 : 圧力蓋、釜は大変、熱くなっております。取り扱いには十分注意して下さい。 奥の釜を扱うときは、手前の釜の蒸気等、火傷には十分注意して下さい。

※ <u>圧力蓋の蒸気穴が詰まっていると、急な吹きこぼれ等、思わぬ事故につながります。</u> 定期的に清掃し、炊飯前には確認の上ご使用ください。

#### ご使用後

- 1. 電源を切ってください
  - 電源スイッチを押して、操作パネルの表示が消える事を確認してください。(長押、約2秒)
- 2. 器具のガス栓を閉めて下さい。

注意:消火直後は本体および部品が非常に高温になっています、 取り扱いには十分注意して下さい。

※ 電源プラグをコンセントから抜くと、炊飯時間の設定が消えてしまいます。 その時は、再度、設定を行って下さい。

#### その他

#### 1. リセットスイッチ

- 本体側面にリセットスイッチがあります。
- ノイズ等によりプログラムが正常に作動しない時に使用します。リセットスイッチを押すと設定してある内容はすべて消去します。再度、設定して下さい。
  - ※リセットスイッチを押すときは、約3秒間、押し続けてください。

### お手入のしかた

#### 1. 器具本体(天板)

・濡れた布等に洗剤を含ませ、拭いてください。

注意:直接水をかけないでください。

火災等重大な事故になる恐れがあります。

#### 2. 五徳

- ナイロンタワシ等で清掃してください。
- こびりついた汚れは、ワイヤーブラシ等で落として下さい。

#### 3. 操作パネル

うすく洗剤を含ませた布を固く絞って、やさしく拭いてください。注意:強くこすると、スイッチ、パネル等の故障になります。

#### 4、圧力蓋

- やわらかいスポンジ等で清掃して下さい。
- 蒸気穴を清掃棒で清掃して下さい。
- ・ 消耗したパッキンは取り替えて下さい。

注意:<u>蒸気穴、パッキンに不備がありますと重大な事故になる恐れがあります。</u> 特に注意してお手入れしてください。

### 仕様

<u>· 形名</u> JKM-10 (10 釜)

<u>・寸法</u> 巾 987×奥行 577×高さ 360

· 定格電圧 AC100V (50/60Hz)

·消費電力 150W (JKM-10)

<u>・ガス消費量</u> 17.4kW(15,000kcal/h) ・・・(JKM-10)

※1 釜当り 強火: 1,500kcal/h 弱火: 500kcal/h

<u>・重量(本体のみ)</u> 50kg (JKM-10)

<u>・タイマー時間</u> 強火:1~60 分、弱火:1~60 分

追炊き(強火): 0、10、20、、、360秒

・安全装置 立消え安全装置 (フレームロッド式)

漏電遮断器

#### 株式会社 中部コーポレーション

三重県桑名市芳ヶ崎堂ヶ峰 1533-1

Tel. 0594-32-1131 Fax. 0594-32-1132

東京営業所 Tel. 03-5833-9969 名古屋営業所 Tel. 0594-32-1135 大阪営業所 Tel. 06-6788-3081 福岡営業所 Tel. 092-474-8800